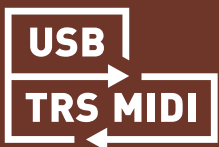


# Lex

rotary

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

## もくじ

---

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	5
ライブエディット機能	7
Bi-Amp 出力モード	7
Cab Filter	8
MIDI クロックとの同期	9
MIDI エクスプレッションへの反応	10
パワーアップモード	11
入力レベル	11
バイパスモード	12
EXP/MIDI ジャックの設定	13
外部コントロール	15
エクスプレッションペダル セットアップ	15
外部スピードスイッチ モード	16
フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード	17
タップ モード	19
MultiSwitch Plus の設定	20
MultiSwitch Plus の使用法	21
Lex のプリセットをMultiSwitch Plus でセーブする	21
MIDI 機能	22
MIDI チャンネルの設定	22
MIDI モードにおけるプリセットの保存	27
MIDI スペシフィケーション	28
MIDI プログラムチェンジ	28
MIDI CCs	29
ファクトリーリセット	30
主な仕様	32
スペシフィケーション	33
電源アダプター規格	33
Appendix 1: サンプルセッティング	34
Appendix 2: パワーアップモード クイックリファレンス	36
ジェネラル・オプション	37
MIDI & Jack オプション	38
Appendix 3: ライブエディットコントロール クイックリファレンス	39
品質保証に関して	41

## 各部の名称と働き

### フロントパネル・コントロール

#### MIC

ステレオマイクとキャビネットの設定位置を変更します。

**Front** : キャビネットの一部がカバーされているフロントサイドから集音するポジションです。

**Rear** : オープンバックのリアサイドから集音するポジションです。

#### SPEED

**SLOW/FAST** フットスイッチで切り替えるロータリースピーカーの回転速度を設定します。

#### HORN LEVEL

高域周波数用のホーン出力レベルをコントロールします。

#### MIC DISTANCE

ホーンとローターのマイキング（ステレオマイクとの）の距離を調整します。左に回し、近いポジションの設定ではアグレッシブな効果が得られ、右に回して遠ざけるとアンビエンスな揺らぎが得られます。

#### SLOW / FAST

ロータースピードを**SLOW**または**FAST**に切り替えます。**レッド**LEDがスピードを表示します。



**NOTE** : ホールドするとブレーキが掛かり回転が止まります。  
離すとノーマル動作に戻ります。

## 各部の名称と働き

### フロントパネル・コントロール

#### RAMP

**SLOW/FASTフットスイッチ**の操作時にローターの立ち上がりスピードをコントロールします。それぞれのローター立ち上がり時間は異なり、低域ローターは遅く立ち上がります。

#### VOLUME

ペダル信号の+/-6dBのブースト/カットコントロールが可能です。12時の位置がユニティーゲインです。

#### PREAMP DRIVE

ロータリー・キャビネット内のチューブ・プリアンプと位相インバーター回路のドライブ量をコントロールします。時計回りで最大に近づくほどオーバードライブしたサウンドが得られます。

#### DRY

ドライ信号のブレンドレベルを調整します。  
左に回し切った状態で最小、右に回し切った状態でドライとエフェクトが50：50になります。

#### EFFECT ON

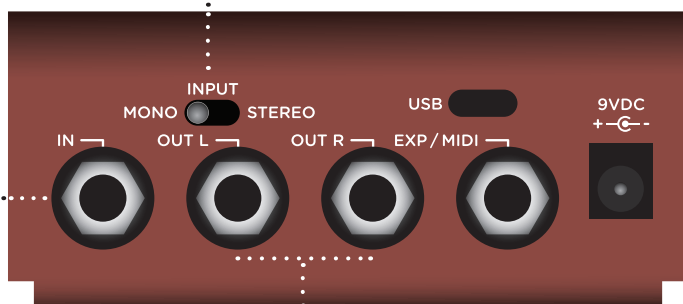
エフェクトをオン/オフします。  
オンの時には**レッド**LEDが点灯します。



## リアパネル I/O & コントロール

### オーディオ入力セクター

- ・ **MONO** : ギターのようなモノ入力信号に使用します。  
出力はステレオです。モノ出力での使用は**OUT L**のみを使用します。
- ・ **STEREO** : ステレオ入力信号の場合に選択します。出力はステレオです。



#### IN

モノラル、超低ノイズのディスクリート Class A JFET プリアンプ入力です。  
ステレオ入力にはTRSステレオアダプターまたはTRSステレオケーブルを使用します。

#### OUTPUTS

ローインピーダンスのステレオ出力です。モノ出力使用時は**OUT L**のみ接続してください。

## リアパネル I/O & コントロール

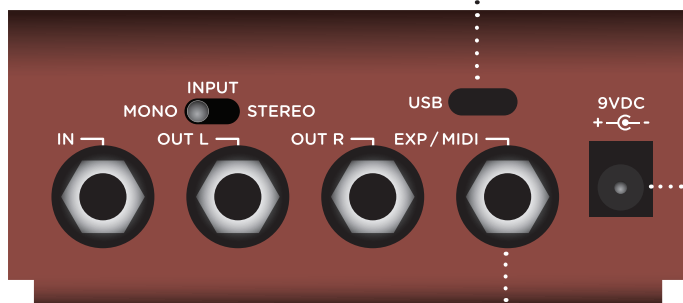
### USB

MIDIコントロール、ファームウェアアップデートを行う際にコンピューターと接続するポートです。

### 9VDC

9VDC（センターマイナス、300mA以上）の電源と接続します。

- 9VDC センターマイナス
- 300mA以上



### EXP / MIDI

本機を外部からコントロールできるマルチコミュニケーションジャックです。以下のオペレーションモードが選択できます。（詳しくは[13ページをご覧ください。](#)）

エクスプレッションペダルモード：[ページ15](#)

フェイバリットモード：[ページ17](#)

Tipモード：[ページ19](#)

MIDIモード：[ページ27](#)

MultiSwitch Plusとの使用：[ページ20](#)

## ライブエディット機能

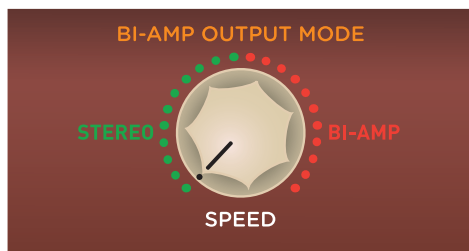
通常はステレオ出力になっている（デフォルト設定）アウトプットを低域と高域に分けて出力(Bi-Amp)できます。Bi-Amp モードでは、Left 出力=ウーハー信号、Right 出力=ホーン信号が出力されます。

### Bi-Amp 出力モード

- 1 ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。  
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- 2 図のように **SPEED (BI-AMP)** ノブを回して Stereo または Bi-Amp を選択します。



- Stereo : **グリーン**（デフォルト設定）
- Bi-Amp : **レッド**

- 3 ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

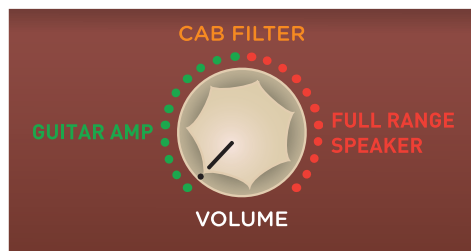
### Cab Filter

ギターアンプに接続する場合、またはフルレンジ・スピーカーに接続する場合、それぞれの出力用キャビネット・フィルターが選択できます。

- ① ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。  
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- ② 図の **VOLUME (CAB FILTER)** ノブを回してキャビネットフィルターを選択します。



- ギターアンプ：**グリーン**（デフォルト設定）
- フルレンジスピーカーシステム：**レッド**（ダイレクトレコーディングに用います。）

- ③ ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE：**このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。



## ライブエディット機能

### MIDI クロックとの同期

本機の Speed と MIDI クロックの同期を決定します。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押しします。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **RAMP スイッチ**で Lex と MIDI クロックとの同期設定を決定します。  
両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを下げて **fast** にして同期を**オフ**にする：**レッド**（デフォルト設定） - MIDI クロックと非同期です。
- スイッチを **slow** にして同期を**オン**にする：**ブルー** - (MIDI クロックと同期します。)

**NOTE :** MIDIに同期すると、LEDが**ピンク**に点灯します。**SPEEDノブ**が入力されるクロックテンポのマルチプライヤー/ディバイダーの働きをします。設定は左から1/4（最小）、1/3、1/2、x1、x2、x3、x4（最大）に設定できます。

- 3 **ON フットスイッチ**を押し、MIDI クロック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** MIDIクロックセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## ライブエディット機能

### MIDI エクスプレッションへの反応

MIDI モード設定の際、本機が MIDI エクスプレッション CC#100 を受け (0= ヒール〜127= トウ)、TRS エクスプレッションペダルと同様のノブセッティングコントロール動作をするかを決定します。

#### ① ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



#### ② MIC スイッチで MIDI エクスプレッション CC#100 への反応を決定します。

両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを **front** にセットすると MIDI エクスプレッションが **On** になり、一時的に **ブルー** に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応します。(デフォルト設定)
- スイッチを **rear** にセットすると MIDI エクスプレッションが **Off** になり、一時的に **レッド** に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応しません。

#### ③ ON フットスイッチを押し、MIDI エクスプレッションを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE** : MIDIエクスプレッションセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

## パワーアップモード

### 入力レベル

エフェクトプロセッシングへの入力レベルの選択です。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししながら電源を接続します。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **SPEED ノブ**で入力レベルモードを変更します。  
ノブを回すと SLOW/FAST LED がステータスカラーに点灯します。
  - **インストルメント：グリーン** (デフォルト設定) - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。
  - **ライン：レッド** - 入力ヘッドルームが 10dB 上がり、ラインレベルに対応します。
- 3 いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE :** パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。  
セッティングはプリセット毎に保存できません。

## パワーアップモード

### バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、長いケーブルでギターを繋いだ時に起こる（入力信号の）高域の劣化が防げます。

- 1 **ON フットスイッチ**を長押ししながら電源を接続します。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **VOLUME ノブ**でバイパスモードを変更します。  
**ON LED** がステータスカラーに点灯します。

- トゥルーバイパス：**グリーン**（デフォルト設定）
- バッファードバイパス：**レッド**

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

**NOTE：**パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。  
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

## パワーアップモード

### EXP/MIDI ジャックの設定

- 1 SLOW/FAST フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。  
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 VOLUME (EXP/MIDI JACK) で EXP/MIDI ジャックの動作機能を変更します。  
ON LED がステータスカラーに点灯します。

- **エクスプレッションペダルモード：グリーン**（デフォルト設定） - TRS エクスプレッションペダル（推奨 25k Ω）を接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは [15 ページ](#)をご覧ください。）
- **外部スピードスイッチモード：パープル** - ロータースピードを外部から切り替えます。（詳しくは [16 ページ](#)をご覧ください。）
- **フェイバリットモード：アンバー** - strymon MiniSwitch でフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは [17 ページ](#)をご覧ください。）
- **タップモード：レッド** - LAG TIME がタップインでセットできます。推奨フットスイッチ：strymon MiniSwitch（詳しくは [19 ページ](#)をご覧ください。）
- **MIDI モード：ブルー** - strymon MultiSwitch Plus（3 プリセット）でプリセットリコールが可能です。また、ジャックが 1/4" TRS MIDI 仕様になり、MIDI コントローラー（300 プリセット）を接続して MIDI フル機能が使用できます。（MultiSwitch Plus に関しては [20 ページ](#)、MIDI に関しては [27 ページ](#)をご覧ください。）

## パワーアップモード

### EXP/MIDI ジャックの設定



- 3 いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDI ジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

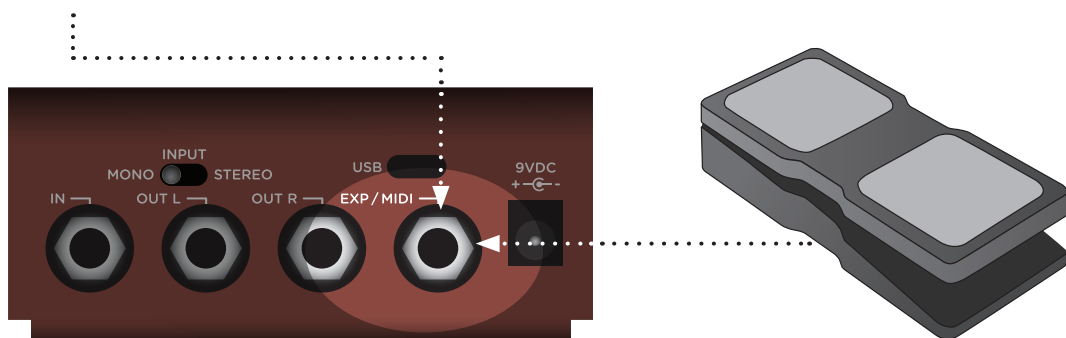
**NOTE :** パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。  
設定はプリセット毎には保存されません。

## 外部コントロール

### エクスプレッションペダル セットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- 1 EXP/MIDIジャックをエクスプレッションモードに設定します。  
(詳細は[13ページ](#)をご覧ください。)
- 2 EXP/MIDIジャックにエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。



- 3 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを同時に長押しします。
- 4 エクスプレッションペダルをヒール側にロックします。  
**SLOW/FAST LED**のみが**グリーン**に点滅します。
- 5 ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。  
**SLOW/FAST LED**のみが**レッド**に点灯します。
- 6 エクスプレッションペダルをトゥ側にロックします。  
**ON LED**のみが**グリーン**に点滅します。
- 7 ペダルのトゥポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。  
**ON LED**のみが**レッド**に点灯します。
- 8 いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

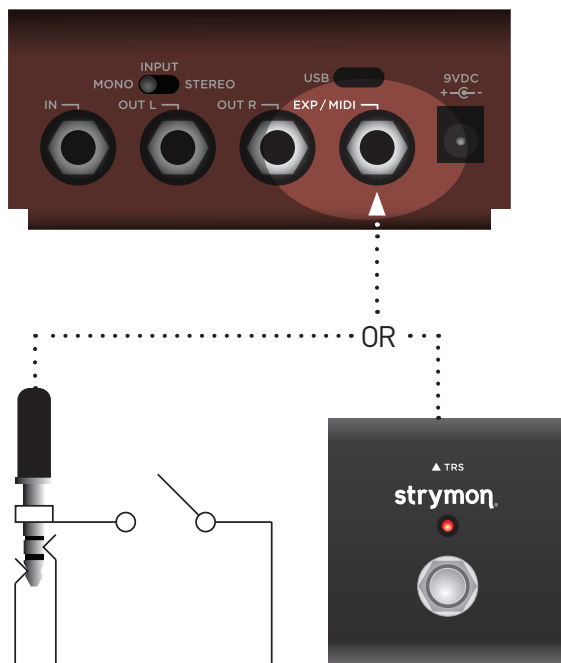
**NOTE :** エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

**NOTE :** Lexが**MIDI EXPRESSION**に設定され、**EXP/MIDIジャック**が**MIDIモード**に設定されると、エクスプレッションペダルはMIDI CC# 100 values 0 (ヒール) ~ 127 (トゥ) で動作します。

## 外部コントロール

### 外部スピードスイッチ モード

スピードモードの切り替えは、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。



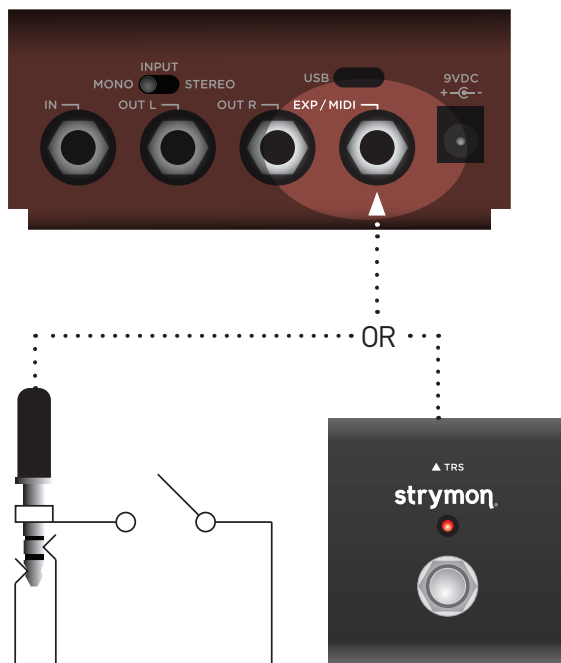
- 1 EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。  
（詳しくは[13ページ](#)をご覧ください。）
- 2 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- 3 ロータースピードのfast、slowを切り替えます。



## 外部コントロール

### フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード

フェイバリット設定のセーブとリコールには、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。



- 1 EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。  
（詳しくは[13ページ](#)をご覧ください。）
- 2 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- 3 コントロールをFAV保存するサウンドに設定します。
- 4 FAV設定を保存するには、**グリーン**に点滅するまで両フットスイッチを長押しします。その後、再度**SLOW/FAST** LEDが**ブルー**に点滅するまで、**SLOW/FASTフットスイッチ**を長押しします。これで保存は完了です。

## 外部コントロール

---

### コンペアモード

FAVとMIDIプリセットがリコールされているとき、ノブやスイッチを変更しセーブされたプリセットポジションに合うと、両LEDが**グリーン**に点滅します。

**NOTE :** 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAV&MIDIセッティングとして保存されます。パワーアップモードはプリセットには保存されません。

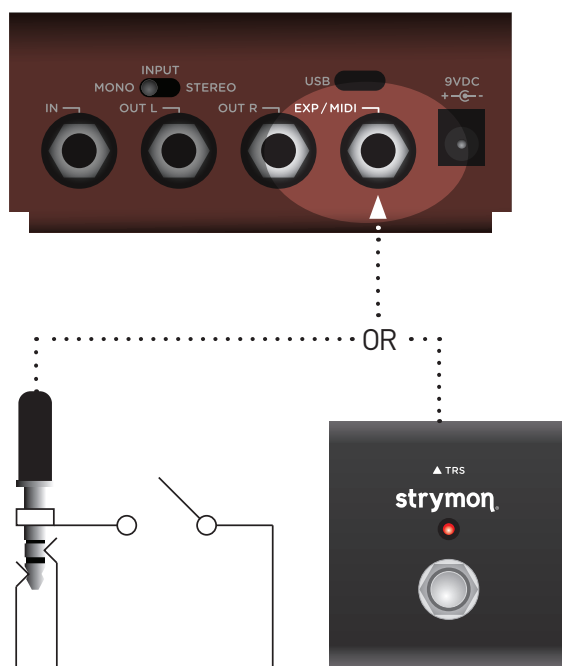
**NOTE :** MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。  
(詳しくは[22ページ](#)をご覧ください。)

**NOTE :** FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

## 外部コントロール

### タップモード

MiniSwitchまたは外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで本機と接続します。



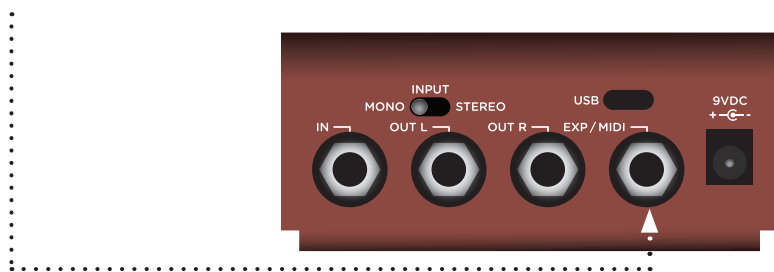
- 1 **EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。**  
(詳しくは[13ページ](#)をご覧ください。)
- 2 外部スイッチを**EXP/MIDI**にTRSケーブルで接続します。
- 3 1/4音符のテンポでタップ入力すると、ロータリースピーカーの回転スピードがセーブされます。

## 外部コントロール

### MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusを接続し、3つのプリセットにリモートアクセスする設定方法です。

- ① **SLOW / FASTフットスイッチ**を押したまま電源を投入します。  
SLOW / FAST LEDの点滅が止まったらフットスイッチを離します。
- ② **SPEEDノブ**を最小に回し（左に回し）、MIDIチャンネルを **1** に設定します。  
SLOW / FASTは**グリーン**に点灯します。
- ③ **HORN LEVEL ノブ**を回し、次の**MIDI OUTオプション**を選択します。  
両ON LEDが以下のように点灯します。：
  - MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト
  - MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
  - MIDI PC、他のデータを送る：**パープル**
  - 他のデータを送る：**アンバー**
- ④ **VOLUME ノブ**を右へ回しきり、**EXP/MIDIジャック**をMIDIモードにします。  
ON LEDは**ブルー**に点灯します。
- ⑤ いずれかのフットスイッチを押し、MIDIチャンネル、**MIDI出力セッティング**を保存してプレイモードへ戻ります。
- ⑥ 本機の**EXP/MIDIジャック**にTRSケーブルを接続します。



- ⑦ MultiSwitch Plusの **Aフットスイッチ**を長押ししながら、TRSケーブルをMultiSwitch Plusに接続し、プリセットモードを選びます。



## 外部コントロール

---

### MultiSwitch Plus の使用法

MultiSwitch PlusでLexのプリセットをセーブ&セレクトします。



**NOTE :** MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC (プログラム チェンジ) 1、2、3に相当します。

- 1 点灯していないフットスイッチを踏み、プリセットをリコールします。
- 2 点灯しているスイッチを押してLexをバイパスします。

### Lex のプリセットを MultiSwitch Plus でセーブする：

- 1 セーブしたいサウンドを設定します。
- 2 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、Lexの両フットスイッチを長押しします。
- 3 MultiSwitch PlusのA、BまたはCスイッチを押してセーブ先を決めます。

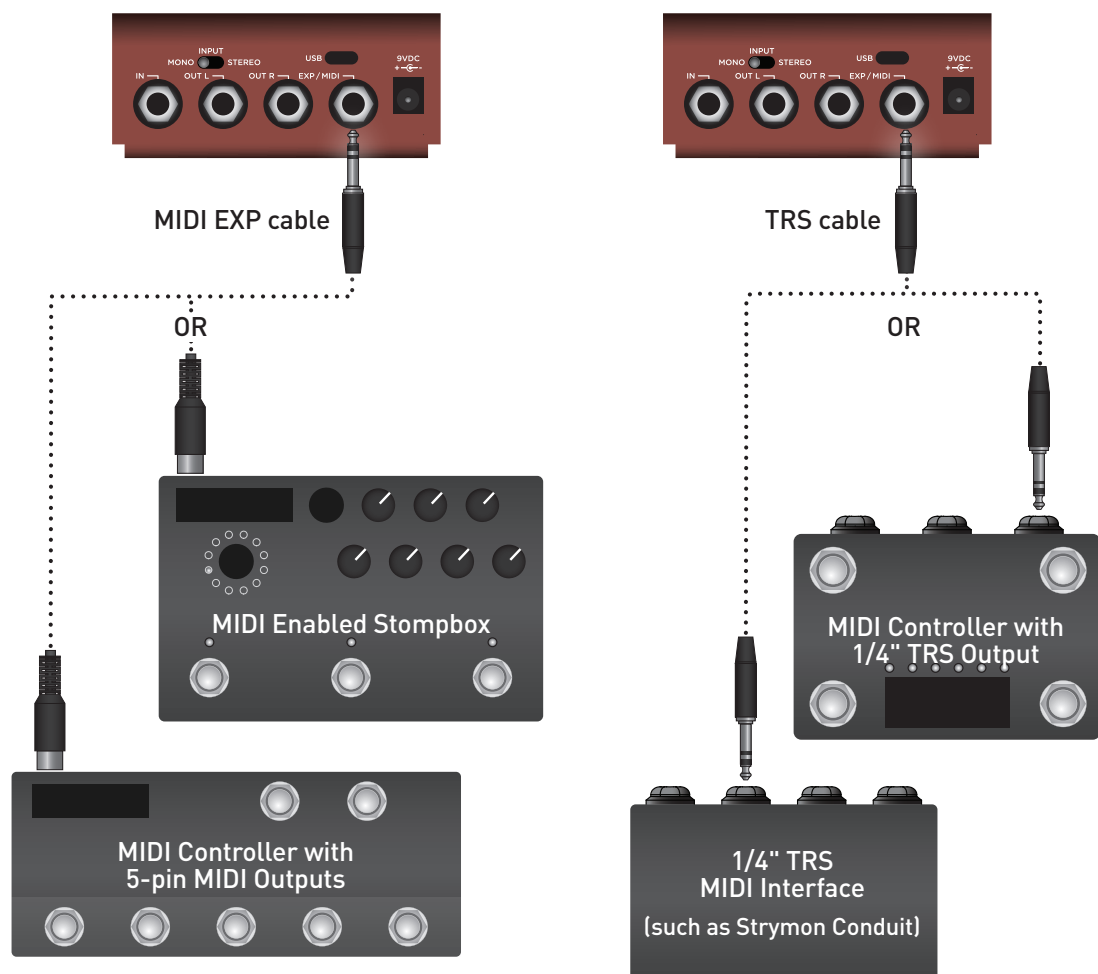
## MIDI 機能

### MIDI 使用の準備

Lexの EXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへアクセスできます。図のように1/4フォン出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブル、Strymon Conduitを使用します。

**NOTE :** Strymon MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDI OUTモードはOFFにします。  
(詳しくは[26ページ](#)をご覧ください。)

[strymon.net/support/lex-v2](http://strymon.net/support/lex-v2)で適応機種を掲載しています。



## MIDI 機能 - MIDI 使用法

### ステップ 1 - EXP/MIDI ジャックを MIDI モードにセットする。

- 1 SLOW / FAST フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。  
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 ON LEDがブルーに点灯するまで、VOLUMEノブを時計回りに回します。

## MIDI 機能 - MIDI 使用法

### ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- ③ **SPEED ノブ**を回しMIDIチャンネルをセットします。  
**SLOW / FAST LED**がステータスを表示します。：

- **Channel1**： **グリーン** (デフォルト設定)
- **Channel 2**： **アンバー**
- **Channel 3**： **レッド**
- **Channel 4-16**： **ブルー** (要1/4”MIDI接続)

**SLOW / FAST LED**が一度**ブルー**に点灯し、MIDIプログラムチェンジ (PC) メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、本機で使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。



## MIDI 機能 - MIDI 使用法

### ステップ 2 - MIDI チャンネルの設定



- 4 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ設定が終了します。

**NOTE :** MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、**ONフットスイッチ**がバイパスの時に、CC#102で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、**ONフットスイッチ** LEDがon (点灯します) になります。

**NOTE :** Strymon MIDI EXPケーブルを使用してLexへデータを送るだけの場合は、必ずMIDI OUTモードを**オフ**にしてください。(詳しくは、[26ページ](#)のMIDIOUTモードのセクションをご覧ください。)

**NOTE :** MIDIチャンネル設定は、フェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

## MIDI 機能 - MIDI 使用法

### ステップ 3 - MIDI OUT モードの設定

- 1 SLOW / FAST フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。  
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 HORN LEVEL ノブを回し本機から出力するMIDIデータを決めます。  
両LEDが点滅してステータスを表示します。

- **OFF : レッド** - MIDIメッセージは出力されません。（デフォルト設定）
- **THRU : ブルー** - 本機が受けたMIDIメッセージをそのままMIDI OUTへ出力します。
- **センドCC、PC、OTHER : ホワイト** - Lexが出力するMIDI CC、PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドCC、OTHER : グリーン** - MIDI CC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドPC、OTHER : パープル** - MIDI PC、Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- **センドOTHER : アンバー** - MIDI Sysex（システムエクスクルーシブ）メッセージがMIDI OUTから出力されます。

- 3 いずれかのフットスイッチを押すと、MIDI OUTモードがセーブされ設定が終了します。

## MIDI 機能

### MIDI モードにおけるプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- ① セーブモード（保存モード）へは、**両フットスイッチ**を長押しします。  
両 LEDが**グリーン**に点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表示します。



- ② 現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、**SLOW / FAST フットスイッチ**をLEDが**ブルー**に点灯するまで長押しします。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、（現MIDIチャンネルで）MIDIプログラムチェンジを送ります。例：

- プリセットをセーブするのに、プログラムチェンジ#10をペダルのメモリーロケーションへ送ります。
- このプリセットをリコールするには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからプログラムチェンジ#10を送ります。

**NOTE：** ONフットスイッチを押してセーブをキャンセルします。

## MIDI スペシフィケーション

---

### MIDI プログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128（0-127）のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

**MIDI BANK 0** = プリセット 0-127

**MIDI BANK 1** = プリセット 128-255

**MIDI BANK 2** = プリセット 256-299

- 0 FAVセッティング（詳しくは[17ページ](#)をご覧ください。）
- 1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- 2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- 3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- 127 マニュアルモード

**NOTE：**一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank（バンク）「0」が選ばれるため、プリセットは初めの 127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1または2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bankチェンジメッセージ（MIDI CC #0とMIDI Bank#）を送る必要があります。

バンク0&パッチ127（MIDIメッセージ）を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング（操作面の実セッティング）に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

## MIDI スペシフィケーション

### MIDI CCs

LEX - MIDI CC NUMBERS			
CC#	PARAMETER	RANGE	VALUE
0	Bank Select	0-2	{0=Bank 1, 1=Bank 2, 2=Bank 3}
11	Mic	1-2	{1=front, 2=rear}
12	Speed	0-127	
13	Speed (Full Range)	0-127	
14	Mic Distance	0-127	
15	Horn Level	0-127	
16	Ramp	1-3	{1=slow, 2=med, 3=fast}
17	Volume	0-127	
18	Dry	0-127	
19	Preamp Drive	0-127	
20	Bi-Amp Output Mode	0-1	{0=stereo, 1=bi-amp}
21	Cab Filter	0-1	{0=guitar amp, 1=full range}
22	Slow/Fast	0, 127	{0=slow, 1-127=fast}
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
63	MIDI Clock Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
93	Remote Tap	Any	
97	Brake	0,127	{0=release, 1-127=hold}
100	Expression Pedal	0-127	{0=heel, 127=toe}
102	Bypass/On	0,127	{0=bypass, 1-127=on}

**NOTE :** 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター（1-127） = on で実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

**NOTE :** 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

## ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。

設定した機能やプリセットが全てファクトリーデフォルトセッティングに変更されます。

### ① ONフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらスイッチを離します。



### ② MIC DISTANCE ノブを0から100%まで2度回します。

SLOW / FAST LEDが色を変え、**レッド**の点滅まで変化します。

- Turn 1 : アンバー
- Turn 2 : レッド
- Turn 3 : アンバー
- Turn 4 : 両LEDが**レッド**。この後リセットが始まります。

ファクトリーリセット

FACTORY DEFAULT SETTINGS	
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression mode and configured to control the <b>SPEED</b> knob
Input Level:	Instrument
Bypass Mode:	True Bypass
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Clock Sync:	Off
MIDI Expression:	On
Live Edit, Secondary Functions:	<b>BI-AMP OUTPUT MODE</b> = 0% (Stereo) <b>CAB FILTER</b> = 0% (Guitar Amp)



Default Live Edit Setting

## 主な仕様

---

- ロータリースピーカーのサウンドと動作特性を厳格に再現したアルゴリズム
- マイクの設置位置が切り替え可能
- fast&slow切り替え時、ホーン&ドラムの異なる立ち上がり時間を再現しました。
- 2ライブエディット機能（セカンダリーパラメーター）：Bi-Amp とGuitar Amp/Full Rangeスピーカー出力モード
- ブレイク機能を備えたSLOW/FASTスピード切り替えリモートスイッチングが可能
- トゥルーバイパス（リレースイッチング）
- 高性能ウルトラローノイズA/D & D/Aコンバーター
- インストルメント & ラインの両信号に対応可能な最大+10dBuのワイドヘッドルーム
- TRSエクспレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクспレッション入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- コンピューターとのMIDIコネクション、ファームウェアのアップデートが可能なUSB-Cジャック搭載。
- ハイパフォーマンス520MHz ARMスーパースカラープロセッサ
- 32-bit浮遊演算プロセッシング
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- ローインピーダンスステレオ出力
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA



# スペシフィックेशन

---

入カインピーダンス	1 Meg Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	109 dB typical
バイパススイッチング	トウルーバイパス(リレースイッチング)
	(D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm

## サイズ

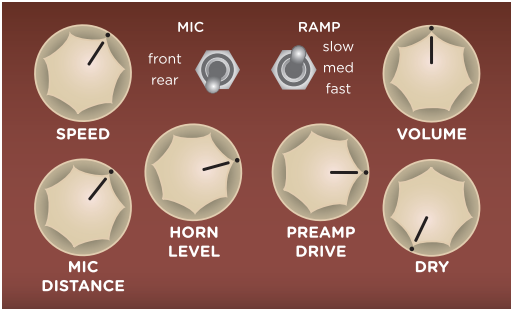
## 電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。  
9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

## **Appendix 1 : サンプルセッティング**

# Sample Settings

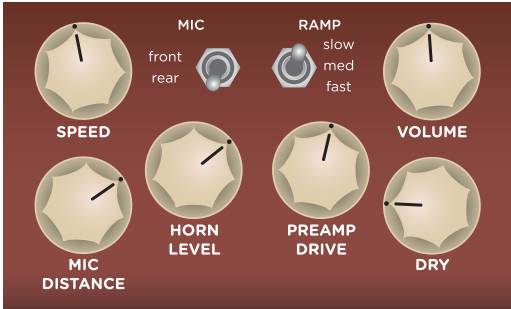
## ALMOST PINKISH



Rotor Speed: Slow

MIDI Program Change 0  
MiniSwitch Favorite

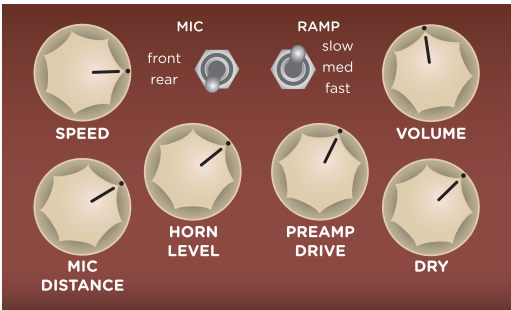
## ROOTSY BE THREE



Rotor Speed: Fast

MIDI Program Change 1  
MultiSwitch Plus A

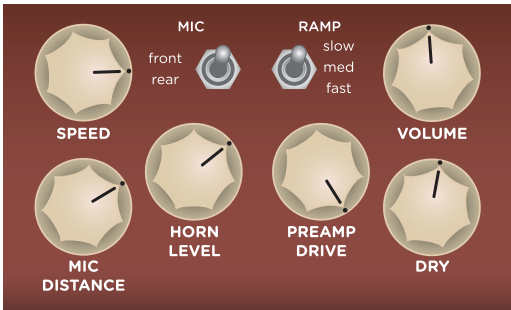
## LAZY RIVER



Rotor Speed: Slow

MIDI Program Change 2  
MultiSwitch Plus B

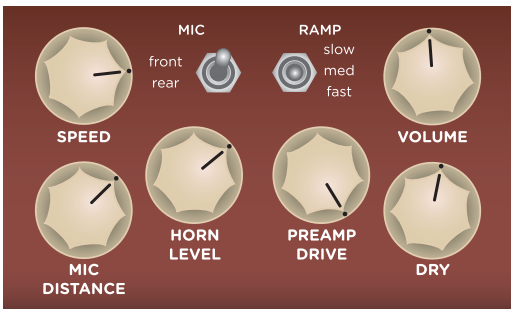
## SLOW SWIRLY CHORUS



Rotor Speed: Slow

MIDI Program Change 3  
MultiSwitch Plus C

## SHOT OF ESPRESSO



Rotor Speed: Fast

MIDI Program Change 4

## ライブエディット機能

Lex にはノブやスイッチがない幾つかのパラメーターが存在します。これらをライブエディット機能と呼び、[7 ページ](#)で詳しく説明しています。このページのサンプルセッティングは、この機能のデフォルト設定を採用しています。

## **Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス**

## パワーアップモード - クイックリファレンス

---

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

### ジェネラル・オプション

- 1 **ONフットスイッチ**を長押ししながら電源を接続します。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップ設定から出ます。

---

#### 入力レベル

図を用いた説明は [11](#)  
[ページ](#)をご覧ください

**SPEED ノブ**を回して、設定したいモードに合わせてください。  
ステータスは **SLOW/FAST LED** に表示されます。

- インストルメント：**グリーン**（デフォルト設定）
- ライン：**レッド**

---

#### バイパスモード

図を用いた説明は [12](#)  
[ページ](#)をご覧ください

**VOLUME ノブ**を回して、設定したいモードに合わせてください。  
**ON LED** に表示されます。

- ツールバイパス：**グリーン**（デフォルト設定）
- バッファードバイパス：**レッド**

---

#### ファクトリーリセット

図を用いた説明は [30](#)  
[ページ](#)をご覧ください

**MIC DISTANCE ノブ**を 0% ～ 100% まで 2 度回します。  
ステータスは**両 LED** に表示されます。

---

## パワーアップモード - クイックリファレンス

---

グローバルパラメーターと機能は、パワーアップモードを実行する際にアクセスできません。通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

### MIDI & Jack オプション

- 1 **SLOW / FAST フットスイッチ**を長押ししながら電源を接続します。  
両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
  - 2 ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
  - 3 いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。
- 

#### EXP/MIDI ジャック モード

図を用いた説明は [13](#)  
[ページ](#)をご覧ください

**VOLUME** を回すと **ON LED** がチャンネルステータスを表示します。

- エクスプレッション：**グリーン**（デフォルト設定）
  - 外部スピードスイッチ：**パープル**
  - フェイバリット：**アンバー**
  - MIDI：**ブルー**
- 

#### MIDI チャンネル

図を用いた説明は [24](#)  
[ページ](#)をご覧ください

**SPEED ノブ**を回すと **SLOW / FAST LED** がチャンネルステータスを表示します。

- 1：**グリーン**（デフォルト設定）
  - 2：**アンバー**
  - 3：**レッド**
  - 4-16：**ブルー**（受けた MIDI メッセージでチャンネルセレクトされます。）
- 

#### MIDI アウトモード

図を用いた説明は [26](#)  
[ページ](#)をご覧ください

**HORN LEVEL ノブ**を回すと両 LED がチャンネルステータスを表示します。

- OFF：**レッド**（デフォルト設定）
  - THROUGH：**ブルー**
  - ON CC、PC、OTHER：ホワイト
  - ON CC、OTHER：**グリーン**
  - ON PC、OTHER：**パープル**
  - ON OTHER：**アンバー**
-

## **Appendix 3 : ライブエディットコントロール クイックリファレンス**

## ライブエディットコントロール - クイックリファレンス

Lexには、特定ノブやスイッチのない幾つかの機能が隠されています。  
これらはプリセット毎にセーブできます。詳しくは[7ページ](#)をご覧ください。

- 1 両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、**ONフットスイッチ**を長押しします。
- 2 フットスイッチを離し、次の説明に従って設定します。
- 3 **ONフットスイッチ**を押して、設定を保存しライブエディットモードから出ます。

### BI-AMP 出力モード

図を用いた説明は [7ページ](#)をご覧ください

**SPEED ノブ**を回すと **SLOW/FAST LED** がチャンネルステータスを表示します。

**グリーン** (L- ステレオ、デフォルト設定)  
**レッド** (R- バイアンプ)

### CAB フィルター

図を用いた説明は [8ページ](#)をご覧ください

**VOLUME ノブ**を回すと **ON LED** がチャンネルステータスを表示します。

**グリーン** (L- ギターアンプ、デフォルト設定)  
**レッド** (R- フルレンジスピーカー)

### MIDI クロック同期

図を用いた説明は [9ページ](#)をご覧ください

**RAMP スイッチ**を **fast** (ダウン) または **slow** (アップ) にすると、両 LED が一時的に点灯します。

- **fast ポジション** : OFF、**レッド** (デフォルト設定)
- **slow ポジション** : ON、**ブルー**

### MIDI エクスプレッション

図を用いた説明は [10ページ](#)をご覧ください

**MIC スイッチ**を **front** または **rear** に設定すると、両 LED が **ブルー** (オン、デフォルト設定) ~ **レッド** (オフ) でコントロールの変化に反応してステータスを表示します。



## 品質保証に関して

---

本機はStrymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたstrymonプロダクトは、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

ノート：全てのstrymon製品はシリアルナンバーが登録&保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作権隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

### ▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

### ▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

## 品質保証に関して

---

### ■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。  
クリーナーやシンナーは使用しないでください。

### ■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取扱いは行わないで下さい。  
記載外の使用法で本機を使用されますと故障する場合があります。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。  
修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理店

**株式会社HotoneJapan**

113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE  
御茶ノ水 9F

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」  
ページよりご連絡ください。  
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」  
ページよりご連絡ください。